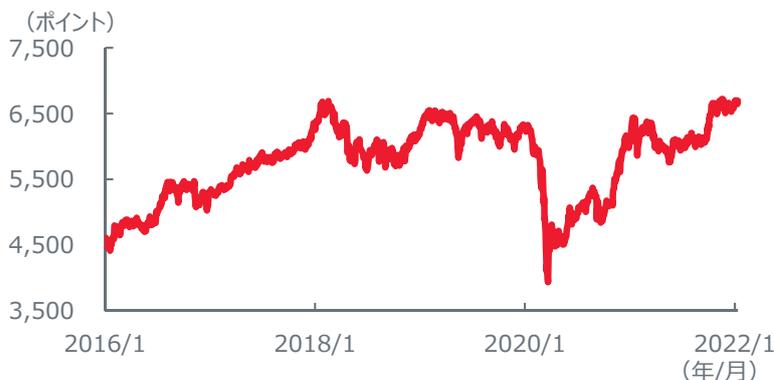
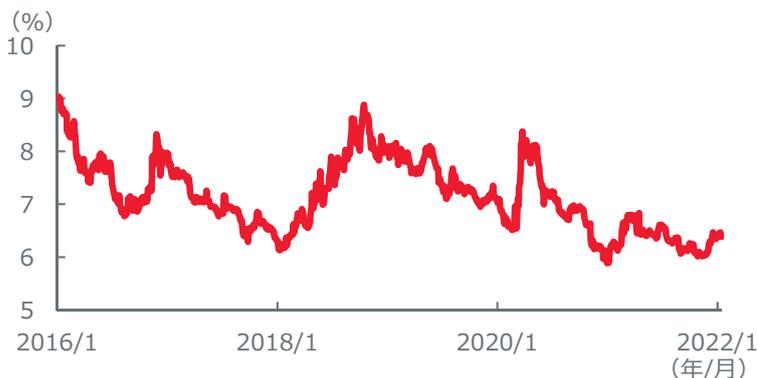


(対象期間：2022/1/10～2022/1/14)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移**  
 (2016年1月4日～2022年1月14日)

**【株式市場】**

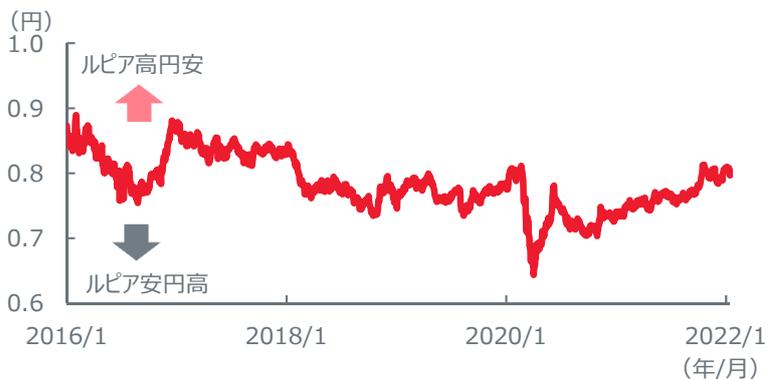
インドネシア株式市場は、週初テクノロジー株の下落に引きずられる形で小幅の下落となりました。11日も米国金利の上昇を受けてテクノロジー株は引き続き軟調となりました。13日に発表された2021年の自動車生産台数は、一部の自動車に対する贅沢税の減免措置や新車需要の増加により、前年比63%の増加となりました。これを受けて自動車関連株は上昇しました。週末にかけては、政府のニッケル中間製品に対して輸出税を課税する計画等を受けてニッケル鉱山株が下落した一方で、石炭株などは上昇しました。前週末比では下落となりました。

2022/1/7	2022/1/14	変化率
6,701.32	6,693.40	-0.12%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移**  
 (2016年1月1日～2022年1月14日)

**【債券市場】**

週初は米国債の利回り上昇を受けて、インドネシアの国債利回りも上昇（価格は下落）しました。11日に行われたイスラム国債入札では投資家の強い需要がみられ、入札後利回りは低下しました。その後も米国債の利回り上昇に一服感が見られたことから、国内投資家を中心に買いがみられ、週を通じて利回りは低下しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比で低下しました。

2022/1/7	2022/1/14	変化幅
6.457	6.387	-0.070

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移**  
 (2016年1月1日～2022年1月14日)


100インドネシアルピアの対円レート

**【為替市場】**

米国債の利回り上昇に一服感が見られたことや、政府が1月1日から31日までの石炭の輸出禁止措置を13日に条件付きで再開すると発表したこと等が好材料となりました。その一方で、政府がニッケル銑鉄やフェロニッケル等のニッケル中間製品に対する輸出税の課税の年内実施を検討していることを受けて、ニッケル相場が大幅上昇となり、貿易収支や為替市場への影響について見極めたいとの動きが見られ、狭いレンジでの推移となりました。ルピアは前週末比で対米ドルでは小幅の上昇、対円では円高が進行したため下落しました。

2022/1/7	2022/1/14	変化率
0.8072	0.7967	-1.30%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&amp;G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

220117 (01)